

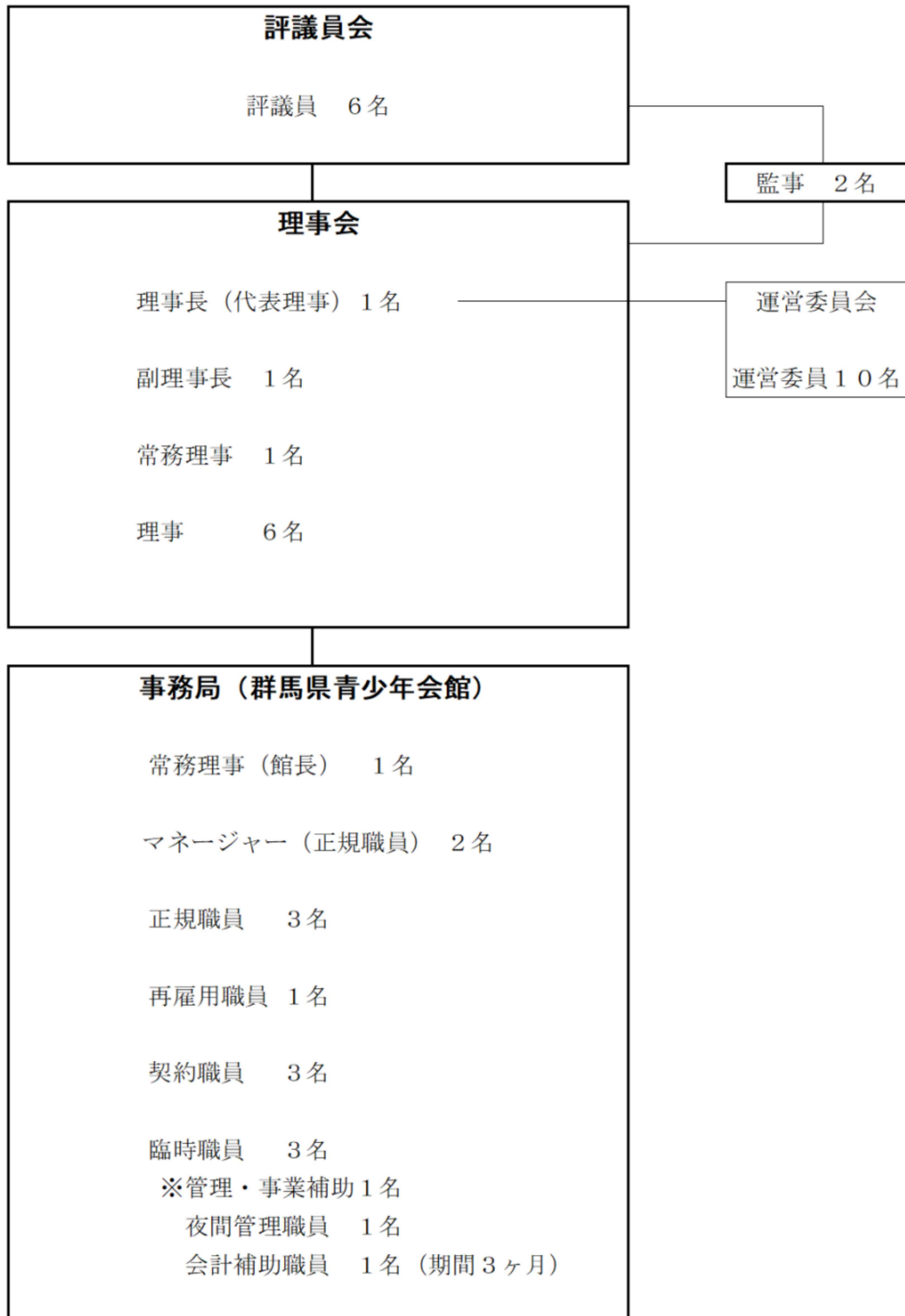
令和6年度

群馬県青少年会館 指定管理事業計画書

公益財団法人群馬県青少年育成事業団

I 管理および運営の体制

1 組織図



2 勤務体制等

(1) 職員勤務体制

変形労働時間制のローテーション勤務を行う。また、群馬県青少年会館の1日の開館時間が9時～22時であることと、宿泊利用もあることなどから1日の中でシフト制勤務を行う。

(2) 責任体制

事業団全体の最高責任者は、理事長（非常勤）であり、常に連絡が取れる体制を取る。

群馬県青少年会館運営の管理（指定管理事業の企画、会計、経理、人事等）及び事業実施（指定管理事業の実施、施設運営等）の責任者は館長（常務理事兼務）とする。また、各業務の統括はマネージャーが行い、常に連絡できる体制を取る。

(3) 職員配置と人材育成

職務経歴や専門スキルが十分発揮できる適材適所の配置を行い、速やかな課題解決と効率化を図る。そのため、新たな資格取得や経験に応じたスキルアップ研修等が受講できる体制づくりに努めるとともに、外部専門家等から各業務に係る助言やアドバイスを受け、多角的な視点での業務改善を図る。

また、将来を見据え事業団の業務全般に精通した人材を育成するため、計画的に様々な業務を経験させるとともに職員の適性に応じた専門スキルを高める。

3 管理及び運営について

(1) 青少年等の活動場所の提供事業

ア サービス提供・向上への取組

- a 団体宿泊研修施設として教育的効果のある利用者受入業務の実施
- b 各種マニュアルの作成と運用・改善
- c 利用者に対する接客研修、及び安全確保のための防犯、救命等訓練の実施
- d 平等・公平な利用者サービスの提供と開かれた施設・魅力ある施設運営の取組
- e 業務開始前の会議や業務日誌を活用した利用団体の情報共有
- f 利用者へのアンケート実施とフィードバック
- g 外部研修への参加等、サービス向上に繋がる事例の情報収集
- h 「群馬県施設予約システム」の活用

イ 利用者を増加させるための取組

- a 新規利用団体獲得に向けた青少年関係団体、市町村教育委員会、学校、地域、県内企業等への積極的な広報活動（職員による訪問等）
- b 職員による Web の随時更新
- c 土日等の青少年団体だけでなく、平日の企業や一般利用者増に向けた利用案内を Web で発信するとともに、詳しい施設概要をブログに掲載
- d X（旧 Twitter）で事業参加者の募集や当日の活動の様子を中心に発信
- e 利用見込のある団体への館報・リーフレットの発送
- f 新聞・ラジオ・県広報紙などのマスコミを利用した PR 活動
- g リピーター増を見込んだ、アンケートによる調査の実施と改善
- h 近隣スポーツ施設等のイベント・大会と連携した利用・宿泊者の受入
- i 駐車場の収容台数オーバー時における近隣施設との連携による対応

- j 受付前の学習スペース及び絵本等を配置したキッズコーナーの常設、またロビー周辺及び会議室の無料 Wi-Fi 提供
- k 指定管理事業、自主事業に参加した関係者に対する施設利用の紹介
- l 自主事業における他施設等の協働イベントでの PR 活動（会場でのリーフレット配布やのぼり旗を配置したプログラム提供ブースの設置）
- m 研修や交流を目的とした利用団体にレクリエーションやクラフト等、プログラムに対する講師や指導者のコーディネート
- n 目標年間利用者数を31,000人に設定
 【参考】令和4年度利用人数 21,748人
 令和5年度利用人数見込 28,473人（11～3月は令和4年度相当）

ウ 施設・設備の維持管理及び修繕の取組

- a 施設設備における修繕箇所の早急な対応
- b 職員の日常点検による問題箇所の早期発見・早期改善
- c 利用者が快適に活動するための日常清掃、各設備点検の実施
- d 外部委託業者と連携した緊急時の素早い対応が可能な連絡体制の整備
- e 適正な備品管理、季節に応じた植栽及び花壇の整備、ロビーや洗面所等の環境整備
- f 利用者との打ち合わせ、電話確認、オリエンテーションの徹底等による事故や危険を伴う活動の未然防止
- g ベテラン職員等による職員への修繕、設備管理スキル指導

エ 緊急時の体制・対応、防災、感染症対策

- a 危機管理マニュアル・消防計画等に基づいた危機管理及び防災対策の実施(消火訓練・避難訓練・地震対策訓練・緊急連絡網作成)
- b 危機管理マニュアル・消防計画の検討と改善
- c AEDを使用した救命講習の実施
- d 不審者対策訓練(防犯訓練)の実施
- e モニターカメラの活用による防犯対策及び防災対策

オ 地域団体や地元住民との連携や地域貢献への取組

- a 荒牧町自治会等との連携・交流
- b 近隣小中学校、老人福祉施設等の事業における連携・交流
- c 小中学校、高校・大学等の授業等の依頼に対する協力
- d 県内青少年教育施設との合同研修参加や情報交換、事業の連携・協力等

カ その他

- a **情報公開及び個人情報保護への取組**
 情報公開規程に基づいた情報公開の実施と個人情報保護規程、特定個人情報保護規程に基づいた個人情報の保護の実施。また職員への個人情報保護研修の実施
- b **法令遵守等への取組**
 諸規程整備等並びに法令に基づいた管理運営の実施
- c **環境保全に対する取組**
 節電の実施や資源の再利用などのエネルギーの節約、CO₂の削減等環境への負荷の低減等に対する積極的な取組

(2) 青少年健全育成事業

生涯学習・社会教育の観点で青少年関係団体、関係機関、学校、地域、企業等と連携した青少年健全育成事業を実施する。

また、各事業で青少年に「出会いと交流」をキーワードにしたプログラムを提供し、後のボランティア活動や青少年団体の自主的な参加、さらには地域活動等の参画につながる機会提供と合わせて、青少年健全育成の基幹的、モデル的な事業を展開する。

小学生にはレクリエーションや創作活動を通じて学校とは違った異年齢コミュニティの中での体験・交流活動を提供し、豊かな人間性、自ら考え行動する等の生きる力を育む。

中学生・高校生にはボランティア体験を通じ、自主性を伸ばし、地域や社会に目を向ける機会を作り、学校や家族以外の人間と関わる中でコミュニケーション能力を高める機会を提供する。関連して、各指定管理事業のプログラムに中学生・高校生のボランティア活動の場を作り、また既存の青少年団体を紹介するなど、ボランティアの活動継続を支援する。

サークルや団体に所属する大学生や地域青年及び青少年団体等の指導者には事業参加のみならず、主体的活動や事業参画の意思と意欲を引き出す支援をする。ついては青年の団体やサークルと対話し、個々の思いに応じた助言やファシリテートを行い、自主的な活動を協働による伴走型支援で実現する。また、ボランティアを希望する個人の大学生や青年に対し、ニーズやスキルに気を配りながら関係団体に繋げ、活動機会を提供するとともに次期人材の育成と確保に努める。

ア 青少年指導者・ボランティア養成事業

中学生・高校生には研修と実践を組み合わせ、実際のボランティア活動を通じて交流を図る。また、学生や青年、団体指導者にはそれぞれの主体的意欲を尊重し、主体的な活動の充実と継続に向けて対話の場作りや適切な助言で支援する。

イ 青少年の交流・体験活動事業

様々な人との交流、親子や仲間との体験活動を通じて、今日的な教育課題でもあるコミュニケーション能力の育成や多様な価値観を理解・尊重する機会を提供する。

また、小学生等が参加する事業に高校生ボランティアを積極的に受け入れ、参加児童の身近なロールモデル、また講師や主催者の補助者として事業に関わる機会を設ける。

ウ 青少年団体の育成及び指導事業

青少年団体活動の活性化を目的に青少年団体の主体性に基づき、連携や共催で事業を実施する。また、企画立案に関して必要な助言や団体間の連携について調整をする。

エ 情報収集・情報提供システム事業

Web やブログを活用し、青少年会館の利用情報や事業報告に関する情報を利用対象者に向けて発信するとともに、事業案内や募集の情報を学校、関係機関、青少年団体、青少年やその保護者等に向け X (Twitter) や Web を通じて発信する。また、来館者に館内で Wi-Fi を使った学習環境を整える。

情報収集は県内の青少年施設の運営の様子や青少年健全育成事業等を視察し、諸事業の参考となる事例を調査する。

事業概要及び実施時期一覧

事業名	趣旨・目的	事業内容	実施時期等	対象・定員等	
青少年等の活動場所の提供事業	青少年会館の管理・運営をとおして、青少年及び青少年団体の自主的かつ創造的な活動の場を提供し、青少年の健全育成に寄与する。	青少年の活動場所提供、会館の施設設備等維持管理、予約システムの運用、施設利用の承認事務、施設利用料収納事務、広報事務、安全管理業務、職員研修、会計経理給与事務、その他管理運営に必要な業務	通年	活動場所の提供事業の対象： 青少年団体、青少年育成団体、青少年スポーツ団体、企業新人研修等	
青少年健全育成事業	趣旨・目的	事業内容	実施時期等 (予定)	対象・定員等	
ア 青少年指導者・ボランティア養成事業	① 中学生・高校生交流ボランティア体験	中高生のボランティア活動を支援・推進するための環境整備として、活動の機会や場の提供に努める。そのため、中高生にボランティア入門として基礎的な知識習得の研修講座を行うと共に、実践活動を通じた参加者同士の交流を図る。	・ボランティアに関する基礎的知識の習得 ・ボランティア体験の実施 ・参加生徒同士の交流 ・講座修了者に他事業でのボランティア活動の機会を年間を通して計画的に提供	7月6～7日 (2日間)	中学生・高校生 15名程度
	② 若者ボランティアフェスティバル	既存団体の地域活動やボランティア活動の認知度向上と若者による事業継承を目指し、関係機関や団体指導者と協働で若者のボランティア活動促進をテーマにした交流活動を企画、実施する。	・市町村社会福祉協議会や県内関係機関との幅広い連携 ・各機関と協働関係にある団体等に協力依頼するとともに団体指導者参画による若者ボランティア参加プログラムの企画 ・関係機関、団体、若者ボランティアでつくる交流事業の開催	関係者会議 4回 事業開催 1月または2月 1回	県内で活動するボランティア団体、地域活動団体、NPO法人及びその指導者
	③ 学生地域貢献活動参画推進事業	大学生や専門学校生によるボランティア活動及び地域貢献活動を助言、後援、共催等で支援する。	・大学や専門学校への訪問による学生サークル等の発掘 ・学生の主体的活動を引き出す対話と実現に向けた協議 ・学生と協働した事業やプログラムの実施 ・研修、活動場所、会議室提供	情報収集 学生との対話 通年 事業・プログラム立案 ・実施 1～2回	県内の大学、専門学校生のサークル等
	④ 体験活動・ボランティア活動支援センター	青少年及び指導者のボランティア活動の情報を収集し、活動を希望する青少年とそれを必要とする学校や青少年団体を結びつけ互いの活動の活性化を図る。	・ボランティア活動に関する情報収集と提供 ・活動希望者と希望者を受け入れる学校・団体との連絡調整 ・会館事業でのボランティア活動の紹介	通年	学校・青少年団体及び地域団体・公民館等 青少年の活動における指導者 ボランティア活動を希望する青少年
イ 青少年の交流・体験活動事業	⑤ 心のバリアフリー事業 (ふれあいゆうあい交流フェスタ)	障がいのある人とない人がともにふれあひ、互いに理解し合える場づくりに向けて、障がいのある子どもを支援する団体や青少年団体関係者等と協働で実施する。	・障がい児の活動を支援する団体等との連絡調整 ・団体指導者、青少年団体会員が参画する対話の場の設置 ・プログラム充実に向けた新たな協力団体の受入と参加協力団体の拡大	関係者会議 4回 6月 5日 8月21日 9月25日 10月30日 事前研修 10月19日 交流フェスタ 10月20日	青少年団体、障がい児の活動を支援する団体、中学生以上のボランティア、一般来場者
	⑥ 親子ふれあい体験教室	ものづくり等、親子共同作業を通して、親子や参加者同士のふれあいを深める。また、レクリエーションによる交流を図る。	・親子でのものづくり (1日目木工・2日目自然クラフト等) ・交流レクリエーション ・児童の集団宿泊体験 ・高校生ボランティアの受入と参加者との交流	7月20～ 21日 (1泊2日)	県内在住・在学の 小学3～6年生親子 10組20名程度 高校生ボランティア 各回3名程度
	⑦ 高校生写真講座	群馬県高等学校文化連盟写真専門部と連携して企画立案を行い、グループ活動による撮影や制作を通じた参加者の交流を図る。また、撮影に関するモラルや技術を高める機会を提供する。	・写真撮影を通しての交流 ・デジタルカメラの基礎知識、技術の習得 ・グループワークによる組写真の制作 ・講座修了者に他事業での撮影	6月15日 (または8月31日)	県内在住の高校生 40名程度 講師等 10名程度

			ボランティアとして活動する機会を提供する。(撮影画像は館報や SNS にも活用)		
⑧	交流文化体験	海外や日本の伝統的な遊びやクラフト等を通して、多様な文化に触れる機会を設けるとともに、児童及び留学生、ボランティアによる異年齢交流を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 海外の特色あるクラフトやダンス、日本の伝統芸能や昔の遊び等の体験 高校生ボランティアの受入と参加者との交流 	6月29日 30日	県内在住・在学の小学3～6年生 各回20名程度 高校生ボランティア 各回5名程度
⑨	高校生と小学生の夏休み交流活動	高校生の部活動や委員会に小学生の体験教室に関わる機会を提供し、事業を通じてボランティア活動の達成感を感じてもらうとともに、年少者を思いやる心を育む。	<ul style="list-style-type: none"> 異年齢交流プログラム 高校生の部活動、委員会単位でのボランティア体験 高校生の企画による児童への創作活動や科学教室、ダンス教室等の実施 	生徒や教員との企画会議 3～4回 8月1日	県内在住・在学の小学生 20名程度 高校生ボランティア 15名程度
⑩	小学生ドローン体験	ドローンの操縦を体験するとともに正しいルールやマナーを学ぶ。また操作を通して参加者同士の交流を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ドローンの操縦体験 ルールとマナーの学習 ドローンを使った仕事や活用事例の紹介 交流活動 高校生ボランティアの受入 	8月7日 1回	県内在住・在学の小学生 15名程度 高校生ボランティア 3名程度
⑪	小学生イラスト講座	マンガ家やイラストレータ等からイラストの描き方を学び、互いの作品を鑑賞する。	<ul style="list-style-type: none"> イラストの描き方、道具類の使い方の学習 イラスト等に関連するの職業の紹介 テーマに沿った製作活動 	8月 2日間	県内在住・在学の小学生 15名程度
⑫	企業コラボ体験活動	県内企業の協力を得て小学生を対象とした体験活動を提供するとともに、働くことについて考える機会とする。	<ul style="list-style-type: none"> 企業と連携したプログラムの立案 企業の特徴を生かした体験活動やクラフト等の実施 	8月 1回	県内在住・在学の小学生 20名程度 高校生ボランティア 3名程度
ウ 青少年団体の育成 及び指導事業	青少年団体活動支援事業	青少年団体の振興、育成のため、各青少年団体との連携を一層深めるとともに共催事業や連携事業を企画、実施する。これらの事業をとらして各青少年団体の更なる活性化、指導力の向上を支援するとともに、新たな団体、サークル等の発掘に努める。	<ul style="list-style-type: none"> 青少年団体の情報収集 青少年団体が主催する事業の支援・共催（年4回程度を見込み、さらなる支援や共催の機会があるときは状況に応じた連携・協力を図る。） 群青連協加盟団体に担当配置 高校生ボランティアの受入と団体会員、参加者との交流 既存の青少年団体に加え、学生サークルや青年グループ等まで対象を広げ、活動の助言とともに連携・協働を図る。 	共催事業 ⑬ 8月3日 4日 ⑭ 8月18日 12月8日 2回 ⑮ 1月26日 ⑯ 3月8日	青少年団体指導者・会員、高校生ボランティア 各回30名程度 県内在住・在学の小学1～6年生、青少年等 各回30名程度
	⑬ 夏休み宿題お助け隊 ⑭ およこで茶道教室 ⑮ 君の紙飛行機はどこまで飛ぶ!? ⑯ ボランティアのつどい				
⑰	地域団体応援事業	青少年育成団体に活動拠点として青少年会館の利用を推奨するとともに活動を推進するため、支援及びプログラム立案を助言する。また、既存の青少年団体との協働をコーディネートし、相互の連携関係を築く。	<ul style="list-style-type: none"> 県内にある青少年育成団体や指導者団体の情報収集及び関係者との対話によるニーズや活動課題の把握 他団体との連携の支援 青少年会館事業の理解促進と協力関係の構築 青少年会館を活用した活動場所の提供やプログラムの提案 	通年 (3～4団体の訪問等)	県内の青少年育成団体、NPO法人、任意団体等
エ 情報収集・情報提供システム事業	⑱ ぐんま青少年ねっと	ホームページ・ブログ・SNSにより青少年会館及び、青少年健全育成事業の情報を発信し、周知を図る。また、学習コーナーの利用者がインターネットを利用できる機器を貸し出し、青少年の自己学習や情報収集を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> 会館運営、事業開催情報の提供 ホームページの更新とSNSの有効な運用 学習情報コーナーの設置（無料Wi-Fiエリア内） 事業に関するデータベースの管理と運用 	通年	青少年、青少年指導者及び地域住民
	⑲ 青少年活動事例調査	青少年の課題やニーズを把握するとともに、指導者の情報や他施設の取り組み事例を収集する。	<ul style="list-style-type: none"> 青少年の地域活動やボランティア活動の視察 他施設の体験活動及び研修の情報収集や参加 	通年 (4～5箇所 の訪問等)	県内外の青少年に係る活動、指導者研修、青少年施設事業等

【参考】月別青少年健全事業実施及び企画会議等予定表（回数が見込めない通年事業は除く）

月	日	事業名	概要
4月	未定	⑰地域団体応援事業	団体活動視察①
	〃	③学生地域貢献活動参画推進事業	学校訪問①
5月	未定	③学生地域貢献活動参画推進事業	学校訪問②
	〃	⑲青少年活動事例調査	活動視察①
6月	5日	⑤心のバリアフリー事業	関係者会議①
	15日	⑦高校生写真講座	開催
	29日	⑧交流文化体験	第1回開催
	30日	⑧交流文化体験	第2回開催
	未定	⑨高校生と小学生の夏休み交流活動	生徒や教員との企画会議①
	〃	③学生地域貢献活動参画推進事業	学校訪問③
	〃	⑰地域団体応援事業	団体活動視察②
	〃	⑲青少年活動事例調査	活動視察②
7月	6日	①中学生・高校生交流ボラ体験	開催1日目
	7日	②中学生・高校生交流ボラ体験	開催2日目
	20日	⑥親子ふれあい体験教室	開催1日目（1泊2日）
	21日	⑥親子ふれあい体験教室	開催2日目
	未定	⑨高校生と小学生の夏休み交流活動	生徒や教員との企画会議②
	〃	⑨高校生と小学生の夏休み交流活動	生徒や教員との企画会議③
	〃	⑭おやこで茶道教室	団体指導者と企画会議
8月	1日	⑨高校生と小学生の夏休み交流活動	開催
	3日	⑬宿題お助け隊	第1回開催
	4日	⑬宿題お助け隊	第2回開催
	17日	⑭おやこで茶道教室	第1回開催
	21日	⑤心のバリアフリー事業	関係者会議②
	未定	⑩小学生ドローン講座	開催
		⑪小学生イラスト講座	開催1日目
		⑪小学生イラスト講座	開催2日目
		⑫企業コラボ体験活動	開催
		⑲青少年活動事例調査	活動視察③
9月	25日	⑤心のバリアフリー事業	関係者会議③
	未定	③学生地域貢献活動参画推進事業	学校訪問④
		⑰地域団体応援事業	団体活動視察③
		⑲青少年活動事例調査	活動視察④
10月	18日	⑤心のバリアフリー事業	関係者と準備・打ち合わせ
	19日	⑤心のバリアフリー事業	ボランティア事前研修
	20日	⑤心のバリアフリー事業	開催
	30日	⑤心のバリアフリー事業	関係者会議④※ふりかえり
11月	未定	②若者ボランティアフェスティバル	関係者会議①
		⑭おやこで茶道教室	団体指導者と企画会議
12月	8日	⑭おやこで茶道教室	第2回開催
	未定	②若者ボランティアフェスティバル	関係者会議②
		⑮君の紙飛行機はどこまで飛ぶ!?	団体指導者と企画会議
1月	26日	⑮君の紙飛行機はどこまで飛ぶ!?	開催
	未定	②若者ボランティアフェスティバル	関係者会議③
2月	未定	②若者ボランティアフェスティバル	開催
		⑯ボランティアのつどい	団体指導者と企画会議
		⑰地域団体応援事業	団体活動視察④
3月	8日	⑯ボランティアのつどい	開催
	未定	②若者ボランティアフェスティバル	関係者会議④※ふりかえり

II 指定管理業務等に係る収支計画

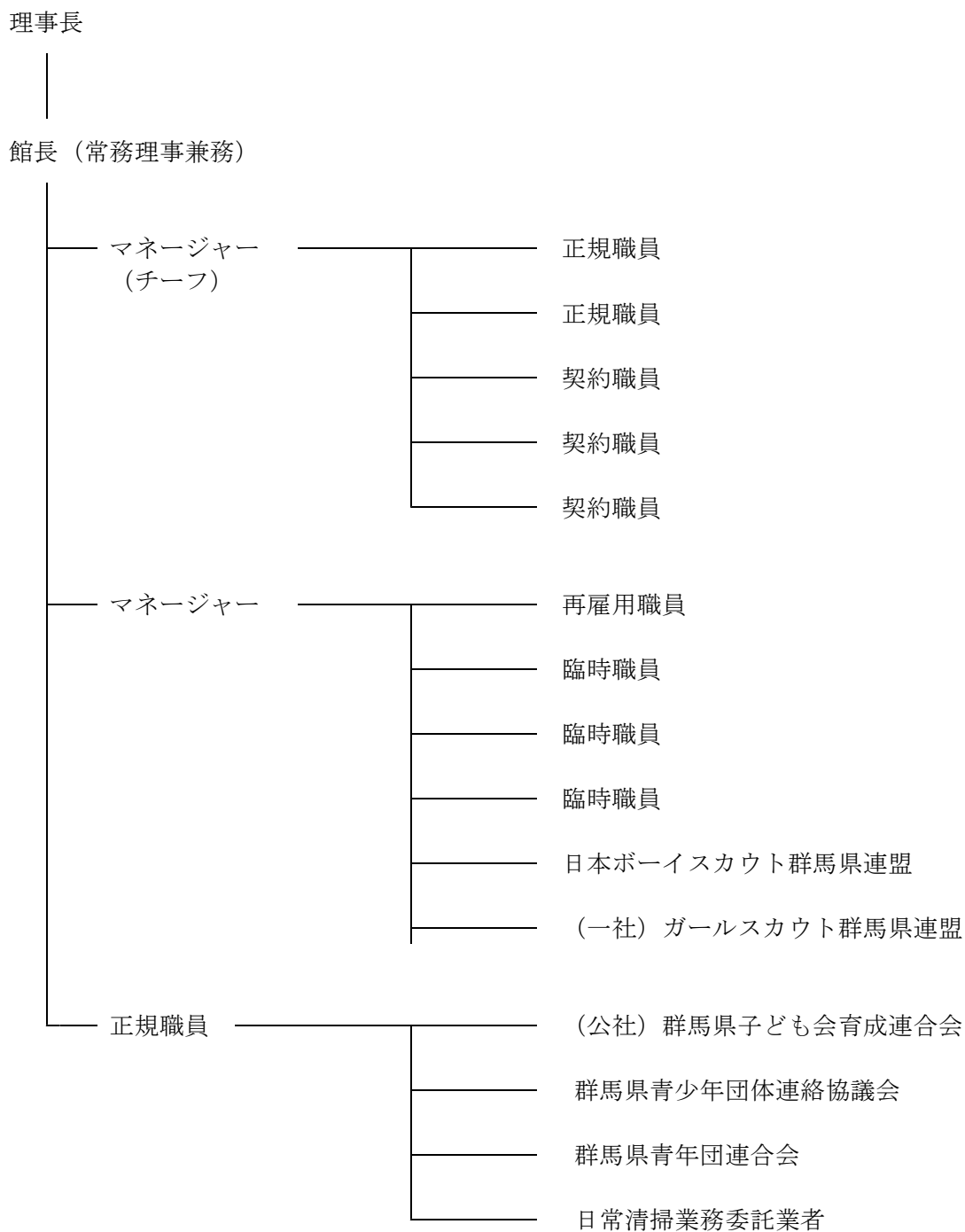
単位(円)

項目	費目	金額	積算内訳	備考	
収入	指定管理料	67,773,000	指定管理料		
	事業参加者負担金収入	130,000	事業参加者負担金		
	利用料金収入	9,700,000	利用料金収入		
	合計	77,603,000			
支出	公益目的事業費 青少年健全育成事業	人件費	39,209,656	役員報酬、給料手当、臨時職員賞金、退職給付費用、福利厚生費	
		旅費交通費	144,600	青少年教育施設外部研修等	
		通信運搬費	266,760	電話、FAX、広報発送費等	
		消耗品費	968,591	事務用品、蛍光灯、衛生用品、複合機使用料等	
		修繕費	200,000	施設修繕費、公用車車検代	
		印刷製本費	140,000	広報誌印刷	
		燃料費	216,000	公用車ガソリン代	
		光熱水料費	5,542,483	電気、ガス、水道代	
		賃借料	187,080	複合機レンタル代、浴室マットレンタル代等	
		保険料	203,110	会館公用車任意保険料・施設賠償責任保険料等	
		租税公課	4,756,246	消費税等	
		支払負担金	25,000	青少年教育施設外部研修参加費	
		手数料	143,880	ピアノ調律代、浴室水質検査代、研修講師料等	
		委託費	1,808,400		
			日常清掃業務	1,808,400	
			床面洗浄ワックス塗布、カーペットクリーニング業務	365,000	
			ガラス清掃業務	63,000	
			寝具丸洗い委託業務	280,000	
			委託料計	2,516,400	
			中学生・高校生交流ボランティア体験	77,000	
			若者ボランティアフェスティバル	315,000	※R6新規
			学生地域貢献活動企画推進事業	15,000	※R6新規
			体験活動・ボランティア活動支援センター	11,000	
			心のバリアフリー事業(ふれあい・ゆうあい交流フェスタ)	650,000	
			親子ふれあい体験教室	240,000	
			高校生写真講座	120,000	
			交流文化体験	200,000	
			高校生と小学生の夏休み交流活動	50,000	
			小学生ドローン体験	75,000	※R6新規
			小学生イラスト講座	110,000	※R6新規
			企業コラボ体験活動	65,000	※R6新規
			青少年団体活動支援事業 夏休み宿題お助け隊	71,000	
			青少年団体活動支援事業 おやこで茶道教室	37,000	
	青少年団体活動支援事業 君の旅行機はどこまで飛ぶ	44,000			
	青少年団体活動支援事業 ボランティアのつどい	60,000			
	地域団体応援事業	15,000	※R6新規		
	ぐんま青少年おっと	1,870,000			
	青少年活動事例調査	12,000			
	青少年健全育成事業計	4,037,000			
	小計	58,556,806			
	施設管理費 委託費	人件費	15,404,663	役員報酬、給料手当、退職給付費用、福利厚生費	
		会議費	87,000	役員会議費用	
		旅費交通費	128,400	役員会議旅費等	
		通信運搬費	23,040	役員会議切手、ほかき代等	
		消耗品費	35,000	事務用品、複合機使用料等	
		燃料費	18,000	公用車ガソリン代	
		光熱水料費	650,235	電気、ガス、水道代	
		賃借料	17,160	モップレンタル代	
		保険料	37,000	役員傷害保険料	
		租税公課	817,496	消費税等	
		支払負担金	40,000	関係協議会負担金	
		手数料	120,000	銀行振込手数料	
		自家用電気工作物保安全管理業務	199,000		
		機械警備	369,600		
		エレベーター保守点検	158,400		
		冷温水発生機保守点検	0		
		樹木管理	360,000		
	空調設備、換気設備、貯水槽清掃業務	205,000			
	消防設備保安業務	110,000			
	自動扉保守管理	68,200			
	一般廃棄物処理業務	198,000			
	委託料計	1,668,200			
	小計	19,046,194			
合計		77,603,000			

Ⅲ 災害等非常時の連絡動員体制

災害時等の非常時には、緊急連絡網を利用し必要な動員体制をとる。

<緊急連絡網>



令和6年度
自主事業実施計画書

公益財団法人群馬県青少年育成事業団

1 概要

群馬県教育委員会の運営方針及び教育の今日的課題を踏まえて、公益法人として本事業団がこれまで培ってきた実績を生かし、社会教育の視点から青少年健全育成の推進を図る。

2 事業内容

ア 青少年活動支援事業

子どもと関わる体験活動を通して、ボランティア活動の推進や青少年相互の交流を図り、コミュニケーション能力や協調性の育成に努める。

イ 地域連携協力事業

市町村や県内の各団体、学校、青少年教育団体等からの要望、要請に対応した各種プログラムを実施するとともに、研修、交流イベント等の実施にあたり、県内の青少年教育施設との連携、協力に努める。

ウ 補助事業

団体活動の活性化を図るために、会館に事務局を置く5団体へ補助金を交付する。

エ 広報事業

青少年教育行政関係者、青少年団体関係者、ボランティア指導者等と事業団の広報と青少年健全育成に係る情報交換を目的とした「新年交歓会」を開催する。

3 経費総額

総額	1,130,519円
----	------------

内訳

人件費	518,519円
事業経費	612,000円

4 自主事業に係る収支計画

単位 (円)

項目	費目	金額	備考	
収入	自主財源	950,519	自主財源	
	事業参加者負担金収入	180,000	事業参加者負担金	
	合計	1,130,519		
支出	人件費	518,519	役員報酬、給料手当、退職給付費用、福利厚生費	
	自主事業	青少年会館友の会事業	117,000	
		地域連携協力事業	15,000	
		新年交歓会	280,000	
		団体補助(支払助成金)	200,000	
		小計	612,000	
合計	1,130,519			

5 事業概要及び実施時期

事業名		趣旨・目的	事業内容	実施時期等	対象・定員等
ア 青少年活動 支援事業	① 青少年会館友の会 事業	会館を拠点とする「青少年会館友の会」に、青少年健全育成事業の指導者として施設ボランティア・事業ボランティアの活動の場を提供するとともに、共催により友の会が企画する児童の体験活動の実施を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ゆめすくーる（小学生対象の体験教室） 会館事業へのボランティア参加 	10月～12月 4～6回 通年	高校生以上の青年指導者等
	イ 地域連携 協力事業	② 地域連携協力事業	市町村や県内団体及び学校等の事業と連携し、ニーズに対応した体験活動や研修を受け入れたり、県内で開催されるイベント等に参加したりして、地域との連携を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 学校等からの施設見学や職場体験への協力 社会教育施設及び青少年団体等が主催するイベント等へのブース出展及び運営協力 県内ボランティア団体が主催する教育プログラムの共催協力 	通年
ウ 補助 事業	③ 団体補助	団体の活性化を図るために、会館に事務局を置く5団体へ補助金を交付する。	<ul style="list-style-type: none"> 事務局運営用補助金の交付（4万円×5団体） 	—	—
エ 広報 事業	④ 新年交歓会	青少年教育行政関係者や青少年団体関係者等が一堂に会し、青少年健全育成について情報交換を行うとともに、群馬県青少年会館及び公益財団法人群馬県青少年育成事業団の諸事業を広報し、その理解促進を図る	<ul style="list-style-type: none"> 情報交換会 事業パネル展示、動画映写 リーフレットや館報の配布 青少年団体の協力によるおもてなしプログラム 	1月	県内青少年教育行政担当者、青少年団体関係者、ボランティア指導者等

令和6年度 受託事業計画書

青少年自立・再学習支援事業

事業名	趣旨・目的	事業内容	実施時期	対象・定員
① G-SKY Plan	悩みを抱える青少年及び保護者に対して相談を行い必要に応じて体験活動を実施するなど、生活を充実させ、不登校やひきこもりからの脱却や社会的自立を支援する。また、高校中退者の再学習のための相談・支援体制の充実を図り、各種情報の提供を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターの配置 ・青少年とその保護者・学校からの相談対応 ・体験活動受入事業所等の情報収集、連絡調整 ・体験活動のコーディネート ・再学習支援のための各種情報の収集、提供 	相談対応は 通年 進路相談会 年2回	不登校や非行等の悩みを抱える生徒及びその保護者等、ひきこもりやニートの青少年及びその保護者等
② 地域における学びを通じたステップアップ支援促進事業	高校中退者等を対象とした学び直しのための支援を行う。高校卒業程度認定試験等に関わる相談及び情報提供と希望者に応じて会館での学習支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・学習相談 学びに応じた教科書や副教材の紹介、高卒認定試験の紹介、教育機関や修学のための経済的支援の紹介等 ・学習支援 青少年会館を活用し、高卒認定試験等の受験を目指す学習者に対して個別に学習支援を行い、学習者の自立を促す。 	通年	高校中退者及びその保護者 ・関係者